

県南思考 Vol.9

特集：美しい松林よ、もういちど

あけましておめでとうございます。また、新成人の皆さんには紙面をかりて、お祝い申しあげます。さて、白砂青松という言葉があります。白砂はまっ白な砂浜、青松はあざやかな松の緑。古くから美しい海岸線を示す表現として親しまれてきました。ところが松くい虫による松枯れの被害が続出。北海道と青森をのぞく日本全国で松林が次々と枯れる事態が発生しています。一時期、沈静化の動きも見られましたが、南房総では去年、今年と急増し、かつての美しい風景が姿を消して、赤茶けた無惨な姿をさらすようになりました。松林は単に風景として人々の心をいやさだけではなく、暮らしを支える重要な役割もになっています。今号は、この松枯れにスポットをあて、被害の実態と、県の取組みを特集しました。

松枯れ対策の最前線

木下 松枯れの被害は千葉県全体に広がっているわけですが、例の3月11日の津波の被害もあって九十九里や旭など北部の松林は全滅に近い。だからどうしてもそちらから先に手をつけざるをえないですね。

亀田 今日、現地をいろいろ歩いてきましたが、あれだけ松が枯れてしまっていると、どこから手をつけたらいいのか。枯れた松は伐採すると言っていましたが、そのあとをどうするのか。空き地にしておくわけにはいかないでしょう。

木下 防潮という重要な役割がありますからね。仮りに、もしも松林がまったくなくなってしまったら、洗濯物なんか外に干せなくなりますよ、塩にやられて。クルマだって、アッという間に錆びてしまう。

秋山 砂対策という意味からも松林は重要です。実際に、館山にある松枯れが進んだ海沿いのサイクリングロードは砂に埋もれつつあります。

木下 もともと裕次郎の映画「錆びたナイフ」をロケしたぐらいですから南房総の砂山はめずらしくないです。放っておけば驚くほどの量の砂が飛んでくる。だから農家の人たちが松を植えて防いだんですよ。

亀田 自分たちが小学校のころ、砂山へ行ってサンドスキーなどで遊んだ思い出がありますが、防砂林がないと町中、ああなってしまうわけですね。

秋山 海岸線に緑があるということは重要で、海に落ちた葉っぱが流れてバクテリアが発生し、それを小さな魚が食べて、また大きな魚が集まってくるという流れを生んでいる。つまり、海岸の保安林は農業だけでなく、漁業も含めた農水全体に関わってくる問題なんですよ。

特集：美しい松林よ、もういちど

結びの対論

亀田県議×秋山県議×木下県議

松林のない海岸線など考えられない。
防虫対策は迅速に、再生は息長く。
緩急の取組みが必要でしょうね。

松林があることの意味

秋山 最近「もみじと同じように、松も紅葉するものんですね」って、皮肉まじりに言われることが増えてきました（笑）。

亀田 私のところにも、「このままでいいのか」と、写真入りで投書が届きます。

木下 松枯れの被害は千葉県全体に広がっているわけですが、例の3月11日の津波の被害もあって九十九里や旭など北部の松林は全滅に近い。だからどうしてもそちらから先に手をつけざるをえないんですね。

亀田 今日、現地をいろいろ歩いてきましたが、あれだけ松が枯れてしまっていると、どこから手をつけたらいいのか。枯れた松は伐採すると言っていましたが、そのあとをどうするのか。空き地にしておくわけにはいかないでしょう。

木下 防潮という重要な役割がありますからね。仮りに、もしも松林がまったくなくなってしまったら、洗濯物なんか外に干せなくなりますよ、塩にやられて。クルマだって、アッという間に錆びてしまう。

秋山 砂対策という意味からも松林は重要です。実際に、館山にある松枯れが進んだ海沿いのサイクリングロードは砂に埋もれつつあります。

木下 もともと裕次郎の映画「錆びたナイフ」をロケしたぐらいですから南房総の砂山はめずらしくないです。放っておけば驚くほどの量の砂が飛んでくる。だから農家の人たちが松を植えて防いだんですよ。

亀田 自分たちが小学校のころ、砂山へ行ってサンドスキーなどで遊んだ思い出がありますが、防砂林がないと町中、ああなってしまうわけですね。

秋山 海岸線に緑があるということは重要で、海に落ちた葉っぱが流れてバクテリアが発生し、それを小さな魚が食べて、また大きな魚が集まてくるという流れを生んでいる。つまり、海岸の保安林は農業だけでなく、漁業も含めた農水全体に関わってくる問題なんですよ。

県の副知事による現地視察

亀田 それにしても、伐採したあの土地に何を植えるのか。例えば竹なんかはどうなんでしょうか。

秋山 たしかに竹は一年でアッという間に成長するし、地下茎が伸

びて増していく勢いもスゴイから、もしも育つなら効果的でしょう。

木下 ただ、竹林は潮風に弱いという話を聞いています。風土に適しないから育たないんじゃないでしょうか。やはり松なんですね。千葉県には林業試験場があるので、研究も進んでいるようですが。

秋山 スーパー黒松といって、ちょうどインフルエンザのように苗木のときにワクチンを注入して、樹木全体に抗体を作ってしまい、育ったのだけを植えていくという計画もあるようです。

亀田 いま亀田病院の前に松林が広がっているでしょう。あの松は私が子どものころ植林したもので、小さな苗木をたくさん植えて、「ここで遊んじゃいけない」なんて怒られたのを覚えていますが、それが立派に育って、あんな松林になった。ただ、50年はかかる。

木下 ですから、どうしても2段階で考える必要があると思うんです。比較的成长の早い樹木を植えて応急手当をしておいて、でも、そればかりだと雑木林になってしまって味気ない。

亀田 やはり松を育てていかないといけませんよ。南房総ならではの景観として再生させていく必要がある。

木下 九十九里の方では松林の再生をめざそうと市民グループを中心になって黒松の苗木を植える運動がおこっていると報じられています。南房総でも、NPOを中心に、そうした動きがおこればと思いますね。

秋山 私たちが中学生のころ、学校の水泳は北条海岸で、海岸に出ると着ていたものを松の木にしばりつけ、フンドシ姿になって海に飛び込んでいったのですが、その頃、枯れた松を見た記憶などありませんもの。

木下 ですから、とくにこの2~3年なんですよ、ひどくなったのは。それでも地域によっては、被害の少ないところもあって、私の目から見ると鴨川はまだ元気なように見えます。早く手を打って、今の内に食い止めすることが大切なんじゃないでしょうか。

亀田 海岸と松林というこの美しい資産を次の世代につなげていくためにも、キチッとした対策を県に求めて、松を守っていく努力を継続させていくことが必要でしょう。

木下 先日、千葉県の副知事が平砂浦を視察して、その惨状を確認しています。農林部長も松枯れ対策に年度をまたいで取り組みたいと抱負を語っています。ということは、数年内にわたってしっかりと対応することになるはずで、とにかく、今やなきや間に合わない。松が1本もない雑木林になってしまった南房総など考えられませんからね。



南部林業事務所

亀田郁夫 (かめだいくお)

鴨川市選出

昭和 27 年 2 月 16 日生まれ

木下敬二 (きしたけいじ)

南房総市・安房郡選出

昭和 23 年 5 月 17 日生まれ

秋山光章 (あきやま みつあき)

館山市選出

昭和 21 年 9 月 21 日生まれ

事務所 /

〒294-0045 館山市北条 2570-11
TEL : 0470-23-5252 FAX : 0470-23-5251
<http://akiyamamitsuaki.jp/>
e-mail : ohshimiz@poppy.ocn.ne.jp

木下敬二 (きしたけいじ)

南房総市・安房郡選出

昭和 23 年 5 月 17 日生まれ

事務所 /

〒295-0005 南房総市千倉町牧田 164-1
TEL : 0470-44-4111 FAX : 0470-44-4112
<http://kishitakeiji.com/>
e-mail : info@kishitakeiji.com

亀田郁夫 (かめだいくお)

鴨川市選出

昭和 27 年 2 月 16 日生まれ

事務所 /

〒296-0041 鴨川市東町 665
TEL : 04-7099-0190 FAX : 04-7099-0191
<http://www.kamedai90.com/>
e-mail : ikuo-k@leaf.ocn.ne.jp

県南思考 Vol.9

発行 : 2012 年 1 月 9 日

制作 : 「県南思考」制作委員会

編集 : 式守編集工房

デザイン : 野村友紀

南の風を県政に。南房総選出の県議による「県南思考」は市民の皆さんとともに、県南のあるべき姿を追い求めています。本紙をお読みになった感想、ご要望、その他ご意見は各県議の事務所までお気軽に寄せください。



松枯れ対策の最前線

松林は南房総の風景に欠かせない。
ひとりひとりが再生を願い続けること。
それが、松枯れを防ぐ最大の抑止力。

館山市から野島崎灯台などを経て南房総市和田町に至る全長およそ46キロの房総フラワーライン。

季節ごとに訪れる観光客でにぎわうドライブルートですが、その両側に続く松の防風林がすっかり枯れて無惨な姿をさらしています。

原因は松くい虫。

「マツノザイセンチュウ」という体長1ミリメートルにも満たない小さな線虫が松の樹にもぐりこみ、増殖して松の樹液の流れを止めて枯れさせてしまうのです。いちどこの虫にやられた松は回復せず、立ち枯れしていく運命をたどります。

実は、この線虫そのものは自分で移動することはできません。「マツノマダラカミキリ」という名前のカミキリ虫によって運ばれます。この虫は2キロほど飛ぶと言われているため、次々に被害が拡大していったというわけです。

千葉県では昭和56年にピークを迎え、それ以降、減少傾向にありました。去年あたりから南房総で急激に拡大。潜在的な虫の繁殖と、高温、少雨、すなわち松の嫌う乾燥した気象条件が加わった結果と言われています。



どれも枯れ果てて無惨な姿をさらしているフラワーラインぞいの松林

続く風景は、地元の人だけでなく、季節先どりの花摘みに訪れたドライバーも失望させています。

施設全体で半数の松が枯死

南房総屈指の名門ゴルフ場として知られる「館山カントリークラブ」。



▲館山カントリークラブ、ジェネラルマネジャーの内田勝昭氏
◀コース内では、のきなみ松が枯死している。内田氏（左）から説明を受ける3県議



松林の必要性を語る石井善治郎氏と、その広大なレタス畑



もういちど、あざやかな南房総の松林を取り戻したい

と、館山市かんべ市戸で、レタス農家を営む、石井善治郎さん。

ジャリジャリと砂が入ったレタスでは消費者に敬遠されてしまいます。

また、近くの花卉栽培農家でも、栽培している花々が飛んでくる砂で傷ついたり、少量でも付着していると市場性を失ってしまうため、飛砂を防ぐ松林の大切さに対する認識は人一倍ふかいものがあります。

「砂の勢い」というのは恐ろしいもので、極端に言えば地形が変わってしまう。ですから、なんとか松枯れの被害を食い止めて、これ以

上拡大させないようにして欲しいんですよ」

もともと海岸は砂地で栄養分に乏しく、加えて潮風と強風にさらされ、樹木の生育には過酷な条件が重なるところ。そうした条件の中で育つのは松しかなかったという背景があります。

その松を救うために必要なのは、ひとりひとりが、この問題に関心を持ち、もういちど白砂青松の南房総を取り戻したいと強く願い続けること。

その思いこそが松枯れ防止の、最大の抑止力となるのかもしれません。



●千葉県南部林業事務所
〒296-0044 千葉県鴨川市広場 820
04-7092-1318

詳細は [千葉県南部林業事務所](#) [検索] する。その業務範囲は治山、地すべり対策、林道、県営林、保安林、森林整備など多岐にわたっている。

Pin Point

インタビュー

南部林業におたずねします。

千葉県南部林業事務所

いま、なぜ南房総で松くい虫の被害が広がっているのか。鴨川市にある千葉県南部林業事務所をおたずねし、被害の実態や今後の対策についてお話をうかがいました。

そもそも、松食い虫被害はいつごろから、発生したんでしょうか。

わが国の松は、ながいあいだ健康な状態が続き、枯れるといつても台風にやられるか、寿命で自然倒木するぐらいだったんですが、明治時代にアメリカから来た木材に「マツノザイセンチュウ」が付着しておりまして、それが広がっていったものと考えられます。千葉県の場合、もともと海沿いは黒松、内陸は赤松など、多く松林が広がっていたんですが、一気にやられてしまって、統計によると昭和50年に千葉県全体で41,244ヘクタールあった松林の総面積が、平成22年には3,328ヘクタールと、十分の1以下に激減しています。

近年、南房総で被害が急増しているのはなぜなんでしょうか。

大きく分けてふたつあります。まず、松枯れの原因となる「マツノザイセンチュウ」を運ぶ「マツノマダラカミキリ」虫の駆除が第一。最近は環境にやさしい薬剤が開発されてきましたので、そうした薬剤を選び、とくに「マツノマダラカミキリ」は6月頃から活動が活発になるため、先手を打って散布して活動をおさえるようにしています。ふたつ目は枯れた松の処分です。松自体は枯れても、その中で



(左から) 駅田県議、秋山県議、木下県議。千葉県南部林業事務所の阿部清三郎所長、村井誠司氏（森林管理課課長）、鳥屋部邦夫氏（同副主幹）

「マツノマダラカミキリ」の幼虫や線虫は生きていますので、それらを駆除するために枯れた松を伐採し、細かなチップにしています。枯れた松林は、そのまま放置するわけにはいきません。防砂、防潮、防風と、機能的に重要な役割をしています。また、景観をよくするなど、海岸の松林に期待されることはありません。今後も市民の皆さんと一緒にになって今ある松林を守り、再生の道をさぐってまいりたいと考えています。

●南房総における松くい虫被害の推移

(いすみ市、御宿町、鴨川市、館山市、南房総市の海岸県有林内総計)

